

つむぐ通信

シリーズ連載 その92

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

【江田島市地域おこし協力隊】

- 空き家活用ディレクター 蛇草 孝介
- 国際交流支援員 大方 芳恵
- えたじま里海ナビゲーター 守本 怜矢
- 観光事業総合プランナー 竹林 健一



facebookで情報を発信しています [江田島市地域おこし協力隊](#)

ETAJIMA GoON!

Vol.31

平井興産株式会社 (大柿町)
専務取締役
ひらい とおる
平井 徹さん

【企業紹介】1966年に採石業で創業後、土木・建築・生コンクリート製造など手がける地域密着型企業。2008年度から新規事業でスッポン養殖開始。自然環境に近い養殖場で安定出荷と臭みの少ないスッポンを生育。関西を中心に広島市へも出荷する。



地域のものを使って育てる「江田島すっぽん」

高い栄養価で滋養強壮や美容におすすめのスッポン。注文は3営業日前を目安に電話でご連絡を。◇大柿町大原519・3◇営業時間8時から17時◇(0823)57・5666◇日曜定休日

専務取締役を務める大柿町出身の平井さん。2023年で15年を迎えたスッポン養殖について、これまでの経緯を伺った。「カキが一番有名な地域でもあり、それと一緒に場所を知っていただくようなことができればいい」と思い「江田島すっぽん」と命名したんです。

明治時代から本格的に始まった日本のスッポン養殖はバブル景気の頃に国内事業者数200を超えた。その後は景気低迷や後継者不足などで減少。現在では50程度となる。広島県内では



▲調理しやすい切り身は200グラムと400グラムで販売。

全国的に養殖場が少なく、希少価値の高いスッポン。建設業ならではの技術とノウハウで、自然に近い環境を整備した。しかし今に至るまで、養殖方法の確立、出荷先の販路開拓など、安定供給を実現するには多くの苦労があった。



▲手前側が養殖場のある営業所。日当たりの良い好立地で育てられる。

その中で15年続けられたのは「ずっとお客さんがおられる」ということで、リピートの飲食店

安芸高田市八千代町に並び、江田島市が産地に名を連ねる。平井興産では、営業所のある能美町高田の広大な敷地内で約2万5千匹を養殖。卵から育てて1年半から2年で出荷する。「滋養強壮で夏場に食べる方もおられるんですが鍋シーズンの冬場に一番動きがありますね」

鍋つゆと切り身がセットの一人前お試し版「すっぽん鍋セット」もラインナップに加わる。手軽に料亭級スタミナ食を堪能できる逸品だ。(税込1620円)

「この広報を通じて、皆さんに広く知っていただければ嬉しいですね。ちょっとした特別な日に食べてみようかな、と思ってもらえたら」



▲鍋のほか雑炊や唐揚げ、キャンプ飯にも!

ETAJIMA GoON! (えたじまゴーオン) は市内で活躍する人やお店をリレー形式で紹介。掲載された人が次の取材先を紹介する、「つなぐ・つながる」がテーマの企画です。毎月中旬頃にA3判フルカラーPDF版を更新。



こんにちは!江田島市地域おこし協力隊の守本怜矢です。

気がつけば年も明け、協力隊の任期も最終年度に入ろうとしております。今年度は1年目に培った知識や経験を、みなさんに伝えられる段階になり、環境が変化してきた良い一年だったと思います。大きくまとめると「自然観光」「地域教育」「新規事業」という側面で、いろいろチャレンジしてきたと感じています。

「自然観光」については、ウミホテル観光プログラムを、広島市内に住むファミリーや、江田島市を訪れた外国人旅行者の方たちに行いました。どんな生き物で、どうやって光るのか。生物としての不思議な生態を伝えたのち、自分たちで採取し、観察していきます。この楽しさは、江田島市の生物の豊かさを体感していただけるいいプログラムだと感じています。さらに、里海を知るクルージングガイドも試験的に始めています。里海にまつわる歴史や生物生態、地理的環境に基づく文化の話といった、ふらっと訪れるだけでは知ることのできない、少し地域を深掘りした面白い話を、実際に船で江田島湾・広島湾を航行しながらお伝えしていくプログラムです。

「新規事業」については、里海で暮らしたいを実現するための、不動産事業「里海不動産」を計画しております。里海には多くの価値や、魅力がまだまだ認知しきれていない魅力があるため、多く人を惹きつけてやみません。しかし、人口は減少し、高齢化が進むことは、人と自然が関わり合うことで培われてきた、地域の魅力や繋がりが失われる可能性があります。だからこそ、里海の魅力を伝えながら、いつか暮らしたいを実現してもらうために「いつかの海を、いつもの海に」をコンセプトとして、不動産事業を計画しております。これは、僕自身が就学している県立広島大学での経営研究として行っておりますので、来年度以降は、研究の成果や展望を皆さんにお

広島県と海ごみ

世界で問題視されている海ごみを減らすために

海ごみが増える原因は、プラスチックごみ。2050年には、世界で年間約1億トン、うち約1000万トンが海に捨てられると予測されています。

海ごみが増える原因は、プラスチックごみ。2050年には、世界で年間約1億トン、うち約1000万トンが海に捨てられると予測されています。

海ごみが増える原因は、プラスチックごみ。2050年には、世界で年間約1億トン、うち約1000万トンが海に捨てられると予測されています。

里海コラム Vol.8

里海とは、人と自然の関わり合いによる価値創造によって、地域の活性化が図られる。環境の好転がもたらす里海価値。

瀬戸内海が人と海に近い理由を考える

瀬戸内海が人と海に近い理由を考える。瀬戸内海は、人と自然の関わり合いによる価値創造によって、地域の活性化が図られる。環境の好転がもたらす里海価値。

伝えています、ぜひワクワクしながら協力していただけることを期待しております!

残り一年となる協力隊の任期を、楽しみながら全力で取り組んでいこうと思っておりますので、皆さま応援・ご協力のほどよろしくお願い致します!